

## 2011年3月期 決算説明会資料

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

## 2012年3月期の取り組み

代表取締役社長  
木村 宏



## 2011年3月期実績: Executive Summary

- 厳しい事業環境にあっても全社EBITDAは5,400億円を上回り増益を達成
- 国内たばこ事業  
過去に例の無い大幅増税に伴う数量減に対し、戦略的な価格設定とブランドロイヤリティを高める施策により増益を確保
- 海外たばこ事業  
総需要減少や規制強化といった厳しい事業環境の中にあっても、トップライン成長へ注力し、グループの利益成長を引き続き牽引
- 医薬事業  
後期開発品を含む臨床開発とパイプラインの充実に一定の進展
- 食品事業  
飲料事業については堅調に推移、加工食品事業等では想定を超える厳しい環境の中、足踏みしている状態だが、ステープルを中心とした収益力ある商品への注力、製造体制の強化といった施策を着実に実施、またこれまで進めてきた事業整理については一定の目途

## 国内たばこ事業：復旧に向けた取り組み

### 【供給再開スケジュール】

4月11日	4月25日	5月9日	6月6日	7月上旬	8月上旬
7銘柄	16銘柄	25銘柄	36銘柄	58銘柄	73銘柄
	(+9銘柄)	(+9銘柄)	(+11銘柄)	(+22銘柄)	(+15銘柄)

- 東日本大震災影響により工場やサプライヤーが被災したこと等から、安定供給を目的とし、一時的な出荷停止/供給制限、銘柄限定供給の臨時措置を実施
- 銘柄数を順次拡大し、8月上旬までに73銘柄体制を確立
- 震災影響を早期に克服すべく、最大限の努力を傾注

## 海外たばこ事業

- 事業環境認識
    - 2010年下期以降、一部の市場を除き、総需要の減少が落ち着きを見せる
    - 事業環境は概ね回復基調にあるものの、経済状況、増税、規制の動向を鑑みるに未だ楽観視はできない状況
  - 利益成長に向けた取り組み
    - 引き続きトップライン成長に注力
      - GFBへの注力
      - イノベーションの推進、ブランドへの投資
      - 値上げ機会の追求
      - 地理的基盤の拡充
    - 厳格なコスト管理
    - 事業基盤強化への投資
- ➔ 為替中立ベースEBITDA  
10%成長をめざす

# 医薬事業

臨床開発品目(2011年5月12日現在)

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2	ロシュ社へ導出 (Phase 3)
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2	
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1	ギリアド・サイエンズ社へ導出 (Phase 3)
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2	
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2	米国メルク社へ導出
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase2	
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1	
JTT-751(経口)	高リン血症	国内:Phase3	ケリックス・バイオファーマシューティカル ス社から導入
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外:Phase1	
JTT-851(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1	

※前回(2011年2月7日)公表時からの変更点 JTT-751の国内Phase3入り

## 【開発の進展】

**JTS-653: 国内でPhase2に移行**

**JTT-751: 国内でPhase3に移行**

**JTT-851: 国内で臨床試験開始**

※前臨床導出品の開発の進展

MEK阻害剤: 導出先でPhase3に移行

抗ICOS抗体: 導出先でPhase1に移行

- 後期開発品を含む臨床開発力の強化と創薬研究力の更なる向上
  - 開発段階の進展に伴い高度化していく開発を推進するための臨床開発力を強化
  - R&Dパイプラインの強化のために創薬研究力を更に向上
- 鳥居薬品得意領域の更なる強化・育成

7



# 食品事業

- 飲料事業
  - 引き続き基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化
  - コスト削減努力の継続
- 加工食品事業・調味料事業
  - ステーブル(主食)<sup>1)</sup>、調味料(酵母エキス等)への戦力集中による収益力強化
  - 引き続き事業全般にわたる効率化を推進
- 最高水準の食の安全管理の推進
  - 「リスク低減に向けた取り組み」「お客様への対応の強化」「組織・体制の強化」

1)ステープル(主食):冷凍麺、米飯(冷凍米飯・無菌包装米飯)、焼成冷凍パン

8



4

# 株主還元



- 2011年3月期は、厳しい事業環境の中、増益を達成、同時に有利子負債の圧縮を着実に進め、自社株買いを含めた還元総額は約850億円
- 2012年3月期に向けては、早期に足元の困難を克服し、中長期的な成長を持続させる強い意思をもって臨む所存
- 従来株主還元、配当方針を堅持

# 中長期的・持続的な成長に向けて

- 中期経営計画「JT - 11」策定時からの大幅な前提条件変化
  - 海外における長引く世界経済の停滞
    - 各国における増税・値上による総需要減少や規制強化
    - 為替変動
  - 国内における過去に例のない大幅増税とそれに伴う需要減少
  - 東日本大震災
- 2012年3月期は中期経営計画「JT - 11」最終年度
  - 震災影響等足元の困難を早期に克服し、全社として「JT - 11」で掲げた目標に向けて最大限努力
- 東日本大震災後の経営方針
  - 日本の社会が直面する戦後最大の試練と認識
  - 今まで以上に、積極的かつ自主的に事業環境の大きな変動に対応してまいる所存

## 2011年3月期 実績

財務責任者  
宮崎 秀樹



## 全社業績 : Executive Summary

- 調整後税抜売上高は微減、EBITDAは増益
- 国内たばこ事業は増税/定価改定に伴う大幅な数量減少影響を戦略的価格設定による単価上昇効果で相殺し増益
- 海外たばこ事業は単価上昇効果および為替のプラス影響が数量減少影響を補いドルベース調整後税抜売上高、EBITDAはそれぞれ5.6%、10.7%成長。GFB販売数量は2.7%増。引き続き主要市場におけるシェアも伸長
- 医薬事業は増収減益、パイプラインの充実に一定の進展
- 食品事業は減収増益、事業の選択と集中に一定の目途

# 全社業績 : 2011年3月期 実績

(単位:億円)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減		2010年 3月期	2011年 3月期	増減
調整後税売上高 <sup>1)</sup>	19,809	19,566	-1.2%				
EBITDA	5,267	5,411	+2.7%	<参考:のれん償却前>			
営業利益	2,965	3,286	+10.9%	営業利益 <sup>2)</sup>	3,939	4,197	+6.6%
経常利益	2,553	3,124	+22.4%	経常利益 <sup>2)</sup>	3,528	4,035	+14.4%
当期純利益	1,384	1,449	+4.7%	当期純利益 <sup>2)</sup>	2,358	2,360	+0.1%
ROE(%)	8.6%	9.2%	+0.6ppt				
FCF	2,507	2,997	+19.5%				

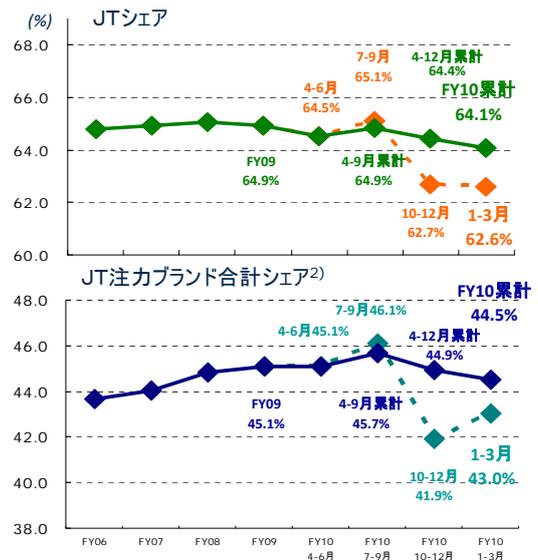
- 国内たばこ事業における増税/定価改定影響に伴う販売数量減少があったものの、国内/海外たばこ事業における単価上昇効果等が相殺し、調整後税売上高は微減、EBITDAは増益
- 営業利益・経常利益・当期純利益は増益
- 東日本大震災に伴う特別損失109億円

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除  
2)のれん償却影響除き



# 国内たばこ事業 : 2011年3月期 実績

(単位:億本, 億円)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
販売数量	1,518	1,346	-11.3%
調整後税売上高 <sup>1)</sup>	6,159	6,179	+0.3%
EBITDA	2,512	2,576	+2.6%
営業利益	1,987	2,129	+7.1%



- 増税/定価改定影響により販売数量は11.3%減少
- 数量減影響を戦略的価格設定による単価上昇効果が相殺し、調整後税売上高はほぼ横ばい、EBITDA・営業利益は増益
- 2011年3月期のJTシェアは64.1%、注カブランドシェアは44.5%

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除  
2)マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシェ(10年1月にピアニッシェに統合したアイシーン、ルーシア込みで遡及)



## 海外たばこ事業：2011年3月期 実績

(単位: 億本、百万US\$)	2009年	2010年	増減
総販売数量 <sup>1)</sup>	4,349	4,284	-1.5%
GFB販売数量	2,434	2,498	+2.7%
調整後税抜売上高 <sup>2)</sup>	9,682	10,223	+5.6%
調整後千本当税抜売上高 <sup>3)</sup> (US\$)	22.5	24.0	+7.0%
\$ベースEBITDA	2,965	3,282	+10.7%
円ベースEBITDA(億円)	2,776	2,881	+3.8%
【為替中立ベース】			
調整後税抜売上高 <sup>2)</sup>	9,682	10,144	+4.8%
調整後千本当税抜売上高 <sup>3)</sup> (US\$)	22.5	23.8	+6.1%
\$ベースEBITDA	2,965	3,194	+7.7%

- 単価上昇効果および為替のプラス影響によりドルベース調整後税抜売上高は5.6%増収、EBITDAは10.7%増益
- 為替中立ベースの調整後税抜売上高は4.8%の増収、EBITDAは7.7%増益
- 円高影響を受けたものの、円ベースEBITDAも3.8%増益

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み  
 2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除  
 3) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないVV販売数量を控除

## 医薬事業：2011年3月期 実績

(単位: 億円)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
売上高	440	469	+29
EBITDA	-96	-132	-36
営業利益	-135	-174	-38

- 鳥居薬品の好調、既導出品にかかる一時金収入の増加により増収
- 鳥居薬品におけるライセンス契約締結に伴う契約一時金の支払い等により減益

## 食品事業 : 2011年3月期 実績

(単位:億円)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
売上高	3,946	3,750	-196
飲料事業	1,861	1,924	+62
加工食品事業等	2,085	1,826	-259
EBITDA	144	172	+27
営業利益	-136	-94	+42

- 飲料事業は猛暑による好影響及び基幹プラント「ルーツ」を中心とした販売が好調に推移していることにより増収
- 加工食品事業等は精白米等の卸売事業の廃止および一部子会社を連結対象外とした影響に加え、業務用商品の売上が減少したこと等により減収
- 飲料事業が堅調に推移したことおよび前年の水産事業における一時的要因がなくなったことにより増益

## 海外たばこ事業 2011年1-3月期速報値

## 海外たばこ事業 : Executive Summary 2011年1-3月期速報値

- 全ての指標で前年実績を上回る好調な業績
- 単価上昇効果が継続
- 厳しい事業環境にも関わらず数量は成長
- ほぼ全ての主要市場でシェアは引き続き増加

19



## 海外たばこ事業 : 2011年 1-3月期速報値

(単位: 億本、百万US\$)	2010年 1-3月期	2011年 1-3月期	増減
総販売数量 <sup>1)</sup>	941	945	+0.5%
GFB販売数量	546	558	+2.1%
調整後売上高 <sup>2)</sup>	2,343	2,447	+4.4%
調整後千本当売上高 <sup>3)</sup> (US\$)	25.2	26.1	+3.9%
【為替中立ベース】			
調整後売上高 <sup>2)</sup>	2,343	2,495	+6.5%
調整後千本当売上高 <sup>3)</sup> (US\$)	25.2	26.7	+6.0%

- 単価/ミックス効果によりドルベース調整後売上高は4.4%成長、為替中立ドルベース調整後売上高は、6.5%成長
- ロシア、台湾、トルコ、韓国に牽引され、GFB販売数量は2.1%成長、総販売数量は0.5%成長

<sup>1)</sup>Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

<sup>2)</sup>従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更物流事業、葉たばこ販売、製造委託等を控除  
2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を行い、2010年の実績についても参考として  
遡及して表示(利益影響なし)

20

<sup>3)</sup>Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、  
売上高に計上していないIV販売数量を控除



10

## 海外たばこ事業：主要市場におけるシェア

	2010年3月 <sup>1)</sup>	2011年3月 <sup>1)</sup>	増減
Italy	18.7%	<b>20.0%</b>	+1.3ppt
France	15.1%	<b>16.1%</b>	+1.0ppt
Spain	20.5%	<b>20.7%</b>	+0.2ppt
UK	39.2%	<b>39.1%</b>	-0.1ppt
Russia	36.8%	<b>37.0%</b>	+0.2ppt
Turkey	19.7%	<b>23.2%</b>	+3.5ppt
Taiwan	37.4%	<b>38.8%</b>	+1.4ppt

出典：AC Nielsen、Logista、Altadis及JTI内部データ

- ほぼ全ての主要市場でシェアは引き続き増加

1)12ヶ月移動平均

21



## 海外たばこ事業：地域別 販売動向

【対前年同期比販売数量成長率】

<速報値 1-3月>

	総販売数量 <sup>1)</sup>	GFB販売数量
計	+0.5%	+2.1%
South & West Europe	-9.7%	-9.1%
North & Central Europe	+1.1%	+4.1%
CIS+	+0.7%	+7.3%
Rest of the World	+5.3%	+3.9%

- S&WE: イタリアのWinstonの好調なパフォーマンス継続も、スペインにおける総需要減少加速と流通在庫調整の影響等により、マイナス成長
- N&CE: UKにおいて、Sterling/Amber Leafが引き続き好調であることに加えて、3月増税・値上げに伴う仮需により数量増等があり、プラス成長
- CIS+: ロシアでのアプトレーディング再開が、GFB数量+7.3%を牽引。総販売数量はロシアの好調な成長がウクライナでの総需要減少に伴う数量減で一部相殺
- RoW: 中東、台湾、韓国での成長モメンタム継続に加え、台湾での4月値上げ前の仮需により総販売数量、GFB販売数量ともにプラス成長

1)Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

22



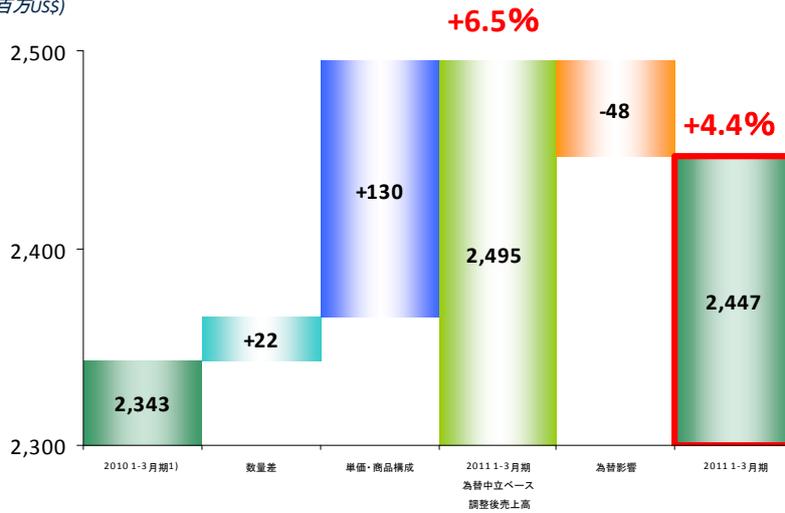
11

# 海外たばこ事業：調整後売上高-単価/ミックス効果が成長ドライバー

【調整後売上高<sup>1)</sup>Roadmap: 10年1-3月期⇒ 11年1-3月期】

<速報値 1-3月>

(単位: 百万US\$)



<増税・値上情報>

	増税	値上げ
Italy	-	10年10月
France	-	10年11月
Spain	10年12月	10年12月
UK	11年1 <sup>1)</sup> 、3月	10年11月、11年1月、3月
Russia	11年1月	10年12月
Turkey	-	-
Taiwan	-	11年3、4月

i) VAT課税率の引上げ

- 為替のマイナス影響があるも、調整後売上高は4.4%成長。引き続き単価/ミックス効果が成長ドライバー。数量効果も貢献。
- 為替中立ベースで6.5%の成長
- 主にGBP安、EUR安により、為替のマイナス影響を受ける

<sup>1)</sup> 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除  
2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を行い、  
2010年の実績についても参考として遡及して表示(利益影響なし)

## 2012年3月期 業績予想

## 業績予想：業績予想の考え方

- 業績予想については、国内たばこ事業において下記の要因により不確実、不透明な要素が多いため一定の前提を置いた上、**全社連結調整後売上高及びEBITDA**について、レンジで表示
  - 東日本大震災により、国内たばこ事業における製品供給に影響
  - 現在、臨時措置として銘柄数及び数量を限定した出荷を実施中であり、順次拡大中

### 【開示内容】

- **全社連結調整後売上高及びEBITDA**についてレンジで表示
- **全社連結売上高/全社連結営業利益/経常利益及び当期純利益**についてのガイダンスはなし
- セグメント別の開示は
  - 国内たばこ： 調整後売上高/EBITDAのレンジでの表示
  - 海外たばこ： 売上高/調整後売上高/EBITDA/営業利益/減価償却費/資本的支出
  - 医薬： 売上高/EBITDA/営業利益/減価償却費/資本的支出
  - 食品： 売上高/EBITDA
- **全社業績予想**については第1四半期決算発表時に公表予定

\* 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更

25



## 2012年3月期 全社業績予想

(単位:億円)	2011年3月期	2012年3月期		対実績 増減率 (b-a)/a
	実績 a	見込 b		
調整後売上高 <sup>1)</sup>	19,566	19,250	～ 19,700	-1.6% ～ +0.7%
EBITDA	5,411	5,400	～ 5,740	-0.2% ～ +6.1%

- **全社業績**は、国内たばこ事業において震災影響により不確実、不透明な要素が多いため一定の前提を置いた上で**調整後売上高及びEBITDA**についてレンジで表示

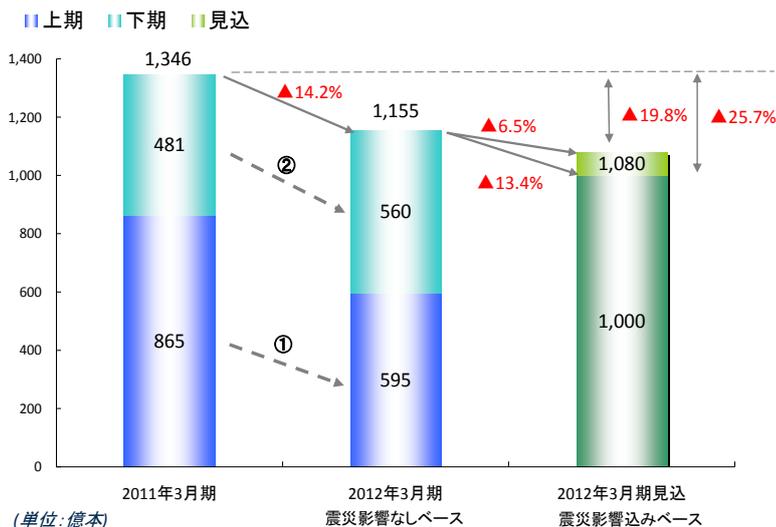
1) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

26



13

# 国内たばこ事業：2012年3月期 販売数量見込



▶ 震災影響なしベース 通期1,155億本  
 ① 上期 595億本 = (865億本 - 仮需135億本) × 増税定価改定影響▲18.5%(弾性値0.5程度)  
 ② 下期 560億本 = (481億本 + 仮需反動減115億本) × 趨勢減▲7~▲6%

▶ 震災影響 主に以下を考慮して算定  
 出荷一時停止影響  
 出荷再開後のシェア影響  
 震災エリア影響(被災による販売不可店の売上減)

- ▶ 上期の増税/定価改定影響及び下期の趨勢減影響に加え、震災影響を受け、大幅な数量減を見込む
- ▶ 一時的な出荷停止/出荷再開後のシェア影響/震災エリアでの売上減影響について合理的な見通しを立てることが難しいため、レンジでの見込み
- ▶ 販売数量は1,000億本~1,080億本を見込む

# 国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

【月別販売数量 4月実績および5・6月見込】

(単位: 億本)	4月 実績	5月 見込	6月 見込
2011年3月期	120	116	122
2012年3月期	22	70-80	90-105
対前年同月比 (増減率)	18.9% -81.1%	60-70%程度 -40~-30%程度	75-85%程度 -25~-15%程度

- ▶ 4月販売数量は22億本、想定どおりに推移

# 国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

(単位: 億本、億円)	2011年3月期	2012年3月期		対実績 増減率 (b-a)/a
	実績 a	見込 b		
販売数量	1,346	1,000	~ 1,080	-25.7% ~ -19.8%
調整後売上高 <sup>1)</sup>	6,179	5,520	~ 5,980	-10.7% ~ -3.2%
EBITDA	2,576	2,270	~ 2,610	-11.9% ~ +1.3%

➤ 販売数量見込を踏まえ、EBITDAは2,270億円~2,610億円を見込む

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

29



# 海外たばこ事業：2012年3月期 業績予想

(単位: 億本、百万US\$)	2010年	2011年	対実績 増減率 (b-a)/a
	実績 (like-for-like) a	見込 b	
総販売数量 <sup>1)</sup>	4,284	4,280	-0.1%
GFB販売数量	2,498	2,570	+2.9%
調整後売上高 <sup>2)</sup>	10,113	11,430	+13.0%
EBITDA <sup>3)</sup>	3,336	3,880	+16.3%
【為替中立ベース】			
為替中立ベース調整後売上高 <sup>2)</sup>	10,113	10,820	+7.0%
為替中立ベースEBITDA <sup>3)</sup>	3,336	3,670	+10.0%

※2011年の円ベースEBITDA見込: 約3,180億円

- 単価/ミックス効果により為替中立ベースEBITDAは10.0%成長見込
- ドルベースの調整後売上高、EBITDAはそれぞれ13.0%、16.3%成長する見込
- GFBは2.9%成長見込

1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を行い、2010年の実績についても参考として遡及して表示。(利益影響なし)

3) 2011年期首より海外たばこ事業のみ先行してUSGAAPからIFRSに移行するため、2010年もIFRSを採用していたと仮定して算出した概算値をlike-for-likeとして表示(非監査参考情報)



## 海外たばこ事業：2012年3月期 業績予想

	2010年 1-12月 期中平均 実績レート a	2011年 1-12月 期中平均 見込レート b	増減率 b対a	(参考)2011年 1-4月 期中平均 実績レート c	(参考)2011年 5月6日 スポットレート d
RUB/\$	30.36	28.50	+6.5%	29.00	27.74
GBP/\$	0.65	0.61	+6.6%	0.63	0.61
EUR/\$	0.75	0.70	+7.1%	0.73	0.69
CHF/\$	1.05	0.90	+16.7%	0.95	0.87
TWD/\$	31.73	28.70	+10.6%	29.39	28.68
円ドル	87.79	82.00	+7.1%	82.59	80.78

- ドルに対し円以外の全ての通貨が同方向に1%変動するとドルベースEBITAが50MM弱変動
- 50MM弱の変動を構成する主な通貨及びおおよその内訳は、
  - RUB45%、GBP15%、EUR10%、CHF-10%、TWD10%
- 円換算時に、円がドルに対して1円変動すると、円ベースでは約40億円EBITDAが変動

## 医薬事業：2012年3月期 業績予想

	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 見込 b	対実績 増減 b-a
(単位: 億円)			
売上高	469	490	+20
EBITDA	-132	-165	- 32

- 烏居薬品の好調に伴い増収を見込む
- 研究開発費の増加、前年度にあった既導出品にかかる一時金収入を今年度は見込んでいないことにより減益を見込む

# 食品事業 : 2012年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2011年3月期	2012年3月期	対実績 増減 b-a
	実績 a	見込 b	
売上高	3,750	3,700	- 50
EBITDA	172	200	+27



- 加工食品事業等は前年度と同水準を見込むも、飲料事業で震災影響による減収を見込み、食品事業全体としては減収
- 加工食品事業等では増益、飲料事業では前年度同水準を見込み、食品事業全体で増益

## 終わりに

- 2012年3月期年度末決算でのIFRS移行に向け準備中
  - 2012年3月期第3四半期までは日本基準で開示するため、業績予想については日本基準で開示
  - 年度末決算からIFRSで開示予定
- IFRS移行後のPLへの主な影響
  - 売上高
    - 国内たばこ事業における物流事業売上高について代理人取引扱いとなるため、当該取引を売上高より控除し、手数料相当分を売上高に計上する方式へ変更(利益影響なし)
  - 営業利益
    - のれんの定期償却を停止する影響が大宗(約800億円程度のプラス)
    - 退職給付費用に関する変更(100億円程度のプラス)
    - 減価償却方法を定率法から定額法へ変更(数十億円程度のプラス)
    - その他、特別損益項目の販管費等への表示替え(当期純利益への影響なし)

All the Detailed figures comes to  
<Back up data>

<Back up data No1> GFB Volume

(単位:億本)	2010 1-3月期	2011 1-3月期	増減率
GFB販売数量	546	558	+2.1%
Winston	272	280	+3.1%
Camel	95	90	-5.7%
Mild Seven	44	51	+16.4%
B&H	25	25	-1.1%
Silk Cut	11	10	-9.3%
LD	74	78	+5.5%
Sobranie	3	2	-33.5%
Glamour	22	22	-0.6%

<速報値 1-3月>

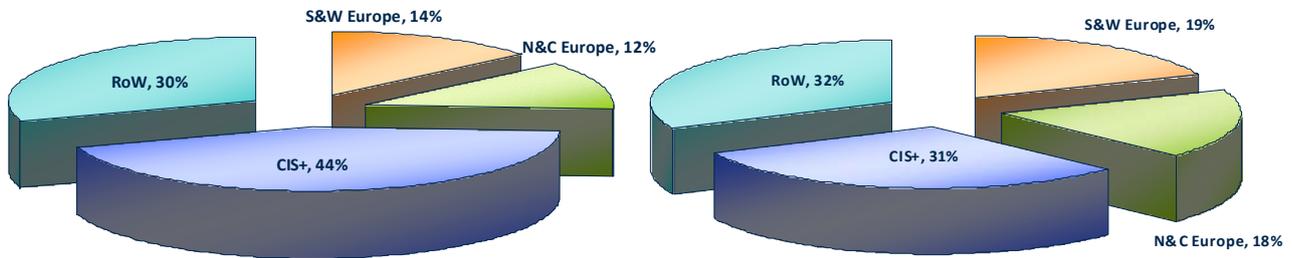


## <Back up data No 2> Composition Ratio by 4cluster

<速報値 1-3月>

販売数量<sup>1)</sup>

調整後売上高<sup>2)</sup>



1) Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み  
 2) 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除  
 2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を実施(利益影響なし)

## <Back up data No 3> 主要市場におけるシェア (3ヶ月平均)

	2010年 1-3月	2010年 4-6月	2010年 7-9月	2010年 10-12月	2011年 1-3月
Italy	19.0%	19.5%	19.9%	20.3%	<b>20.4%</b>
France	15.8%	15.9%	16.0%	16.2%	<b>16.2%</b>
Spain	20.9%	21.4%	20.0%	20.8%	<b>20.3%</b>
UK	38.6%	38.9%	38.9%	39.4%	<b>39.0%</b>
Russia	36.9%	37.0%	37.1%	36.8%	<b>37.1%</b>
Turkey	21.2%	22.8%	23.5%	23.0%	<b>23.3%</b>
Taiwan	37.8%	38.4%	38.6%	38.8%	<b>39.4%</b>

## <Back up data No 4> FX rate

	2010年 1-3月 期中平均 実績レート a	2011年 1-3月 期中平均 実績レート b	増減率 b対a
RUB/\$	29.85	29.30	+1.9%
GBP/\$	0.62	0.63	-1.5%
EUR/\$	0.70	0.75	-6.0%
CHF/\$	1.04	0.96	+8.4%
TWD/\$	32.09	29.51	+8.7%
円ドル	90.69	82.31	+10.2%

## 【参考資料】

### 2011年3月期 実績 および 2012年3月期 業績予想 における増減要因の分析



## 当資料取扱上の注意点

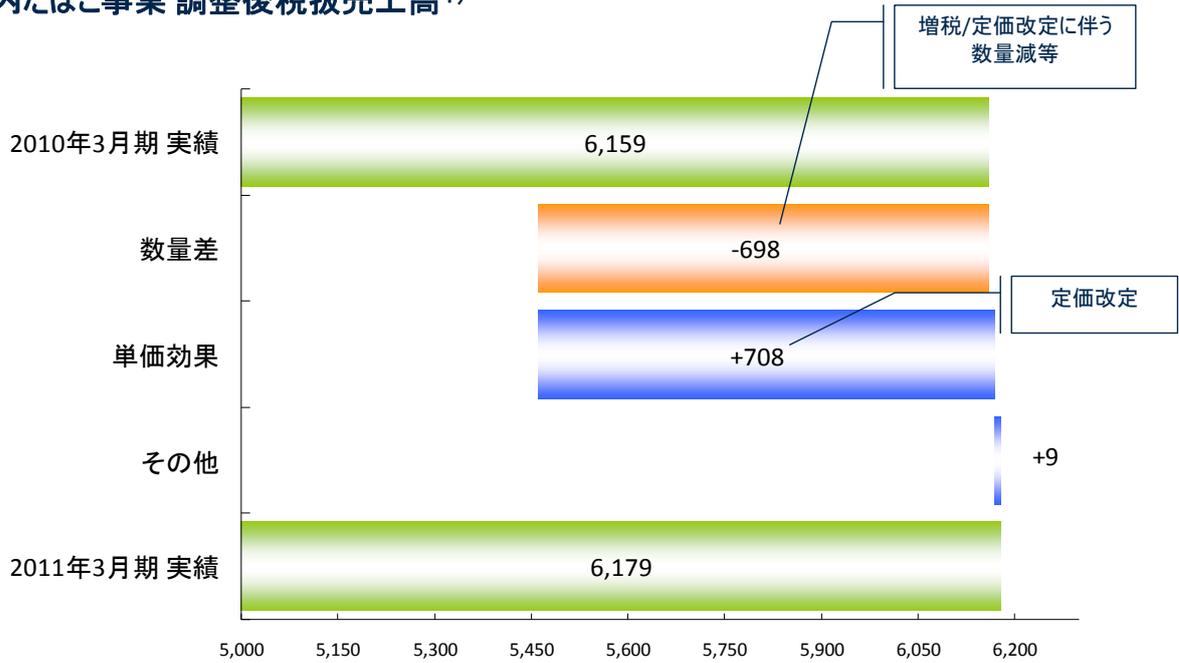
### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

# 2011年3月期実績

## 国内たばこ事業 調整後税抜売上高<sup>1)</sup>



(億円)

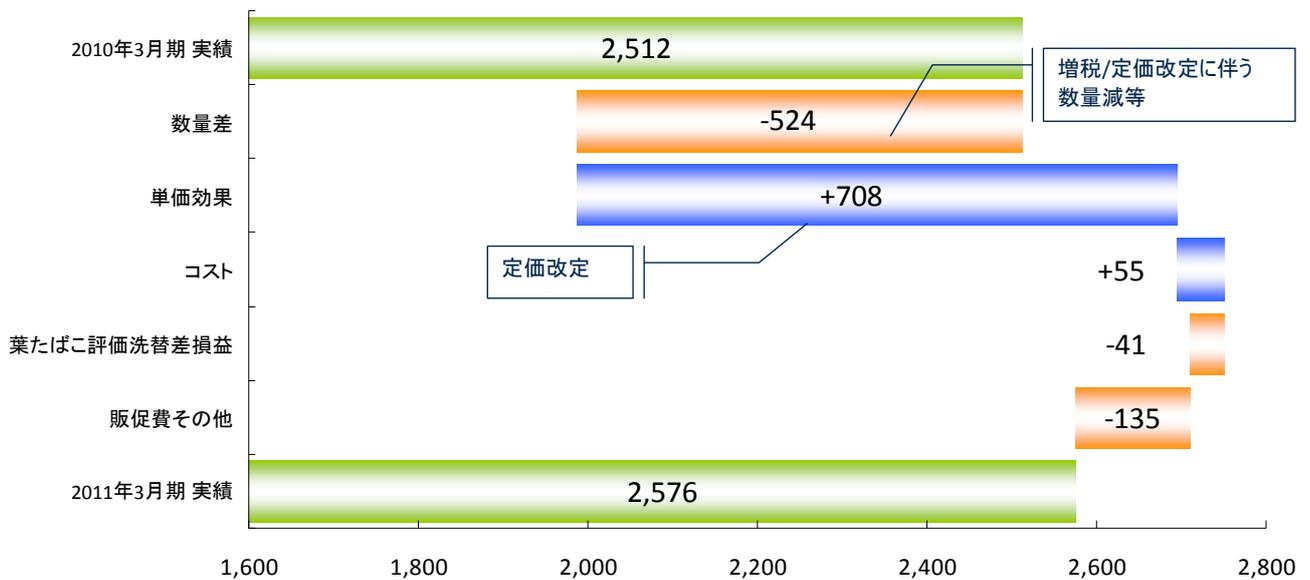
<sup>1)</sup> 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

3



# 2011年3月期実績

## 国内たばこ事業 EBITDA



(億円)

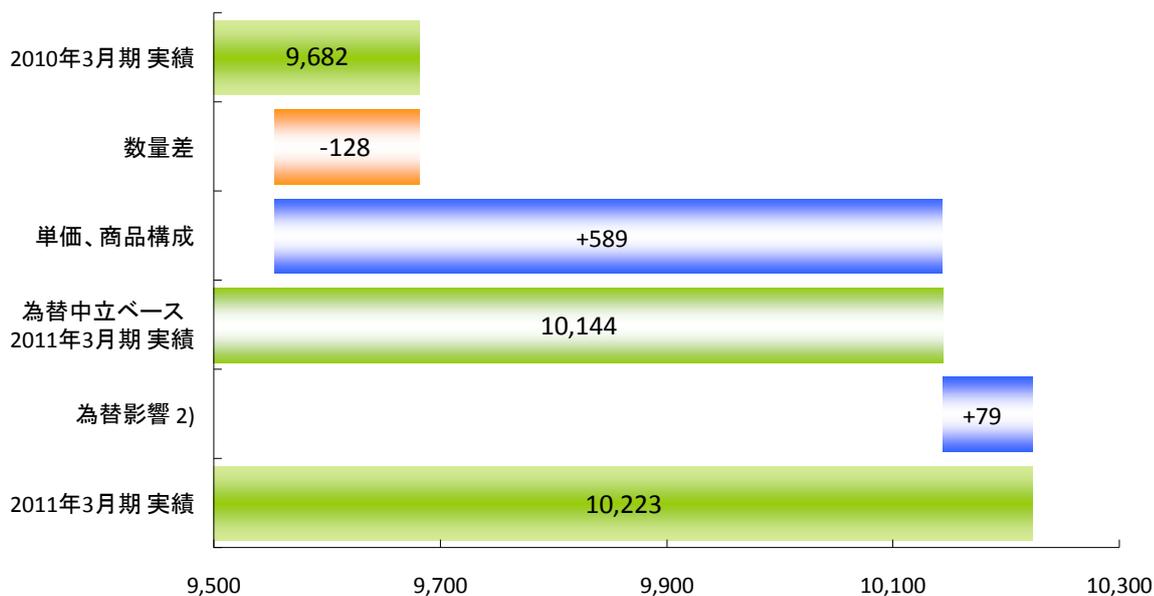
4



22

# 2011年3月期 実績

## □ 海外たばこ事業 調整後税抜売上高<sup>1)</sup>



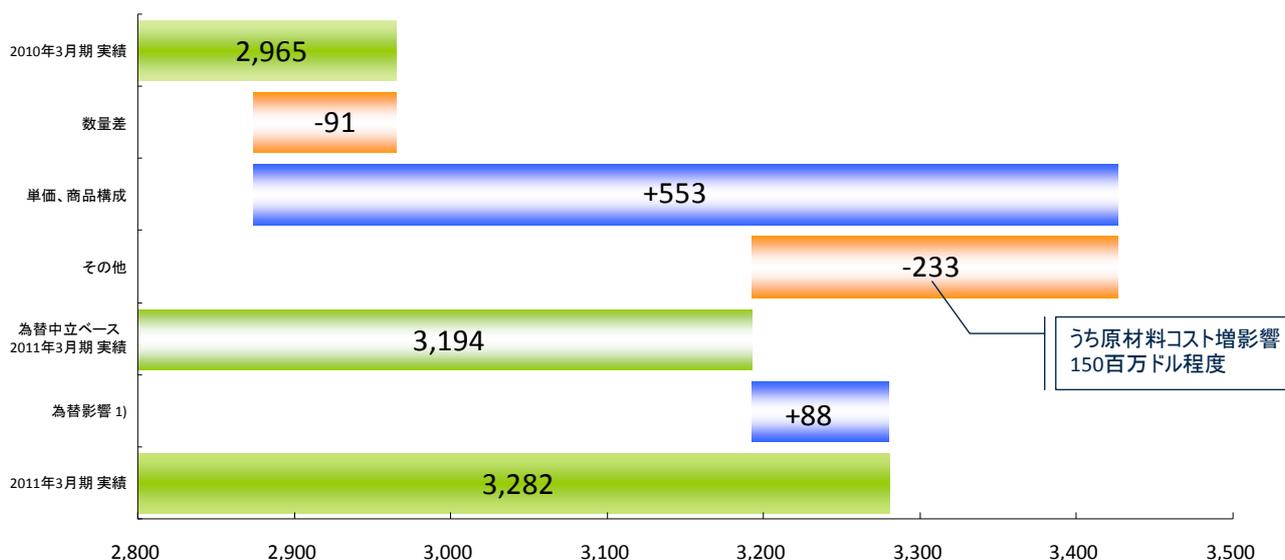
(百万US\$)

1) 物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除  
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響



# 2011年3月期 実績

## □ 海外たばこ事業 EBITDA



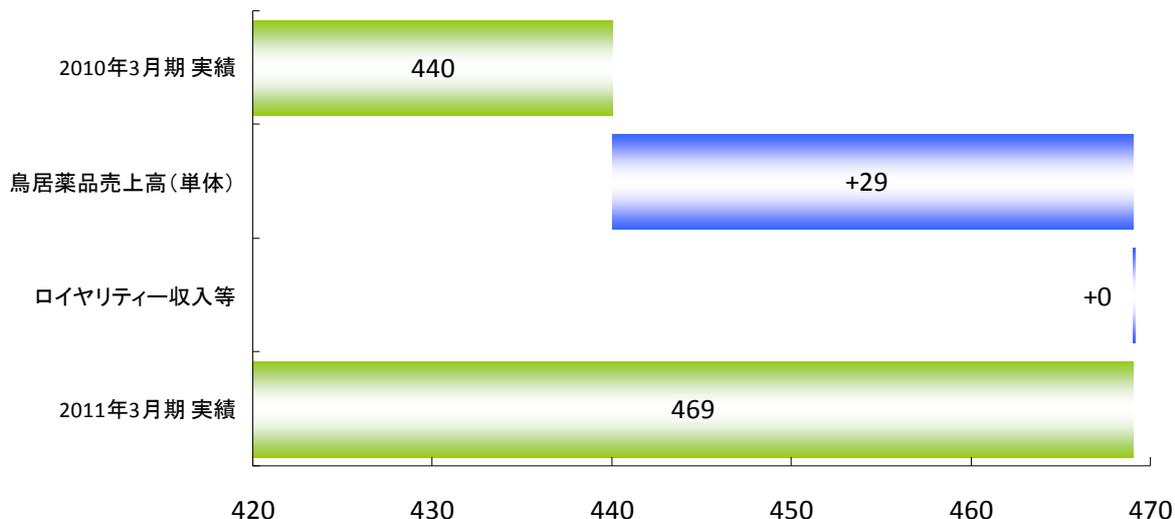
(百万US\$)

1) USドルと各現地通貨との間の為替影響



# 2011年3月期 実績

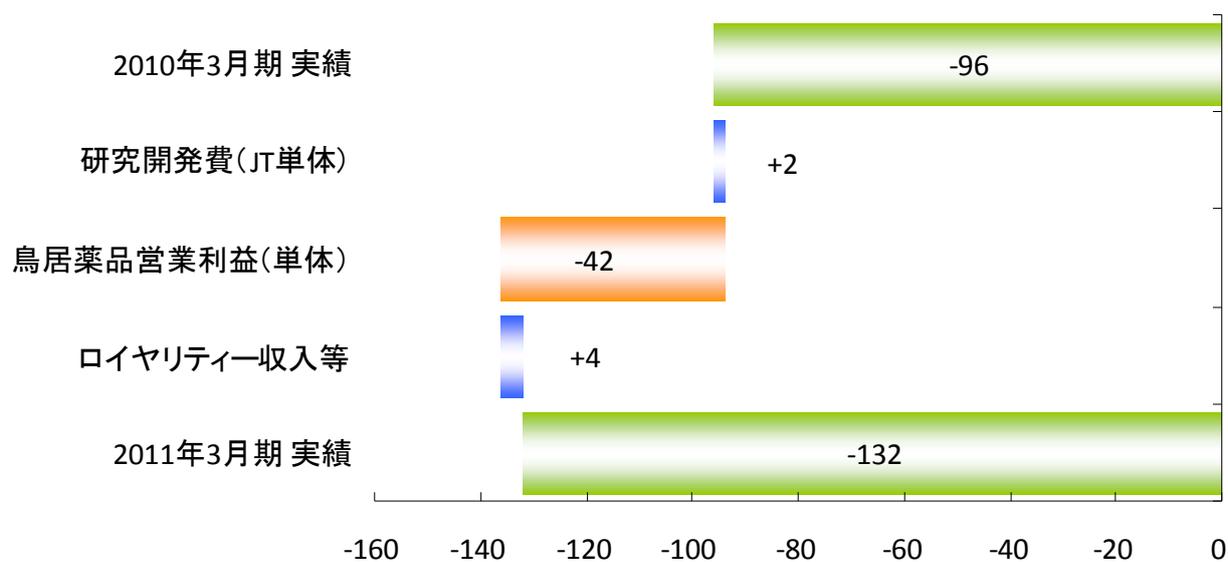
## □ 医薬事業 売上高



(億円)

# 2011年3月期 実績

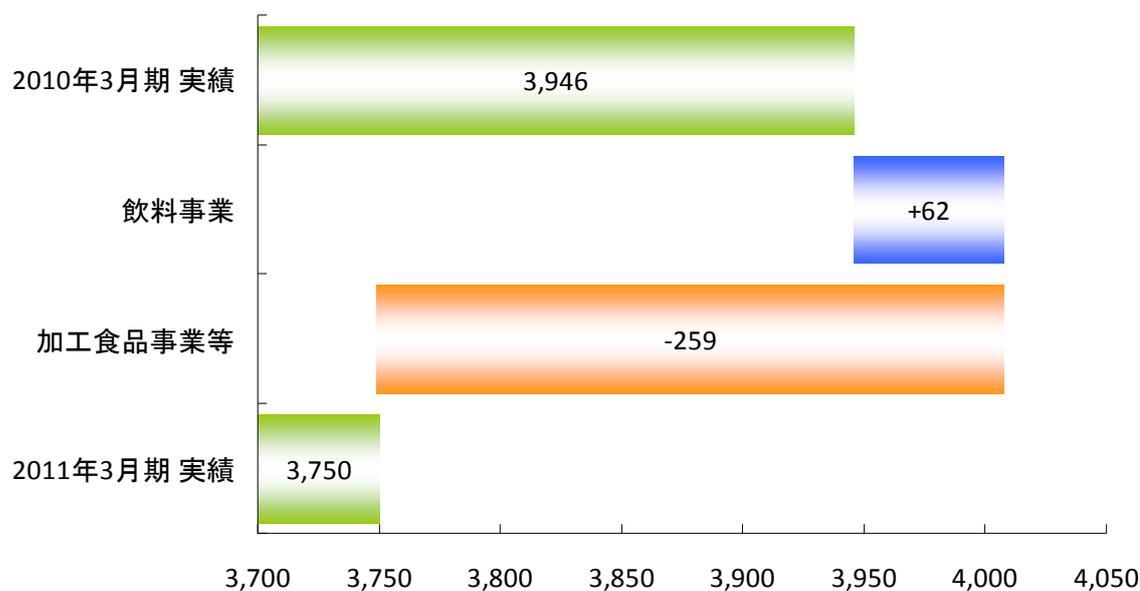
## □ 医薬事業 EBITDA



(億円)

## 2011年3月期実績

### □ 食品事業売上高

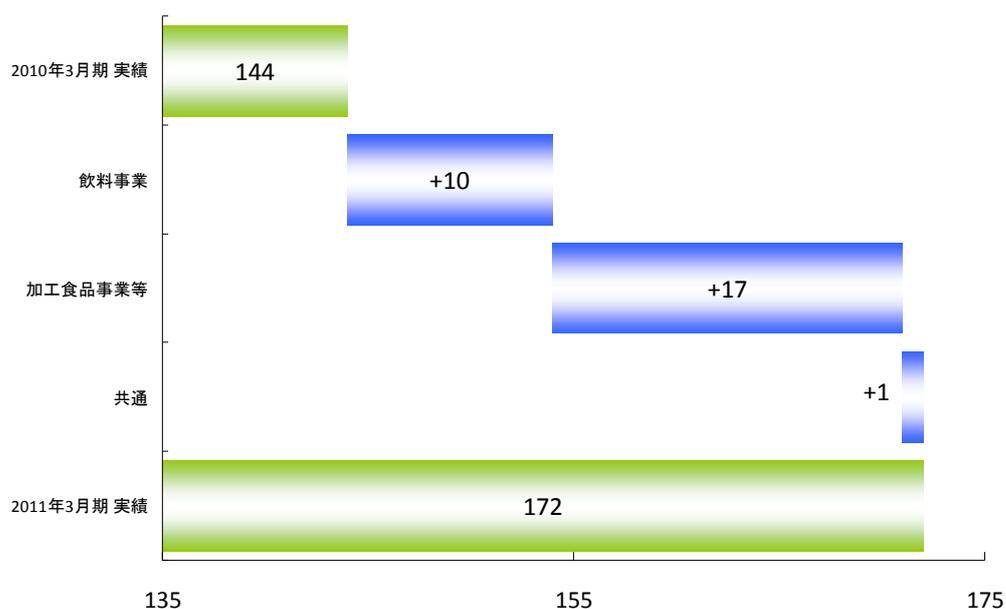


(億円)



## 2011年3月期実績

### □ 食品事業 EBITDA

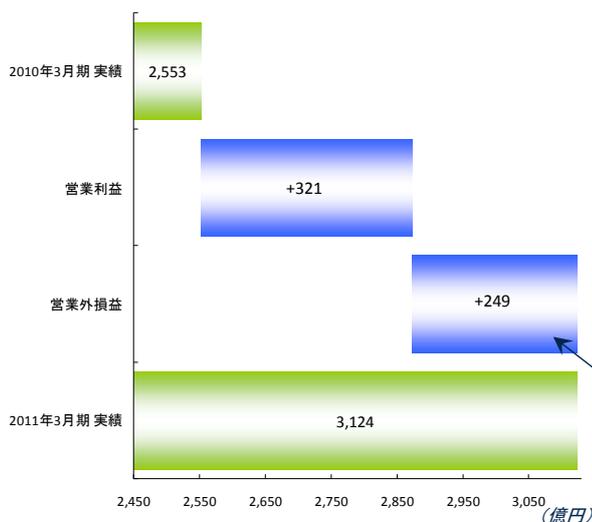


(億円)



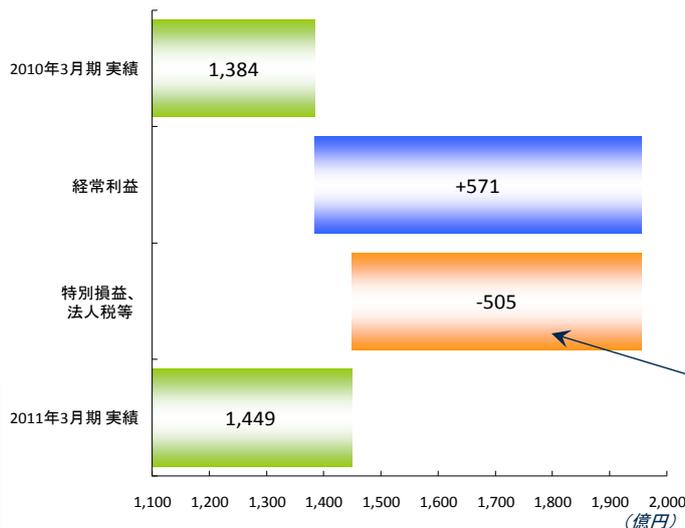
# 2011年3月期実績

## □ 経常利益



**改善要因:** 為替差損益の改善: 210億円  
支払利息の減: 90億円  
**悪化要因:** 受取利息・配当金の減: 39億円 等

## □ 当期純利益

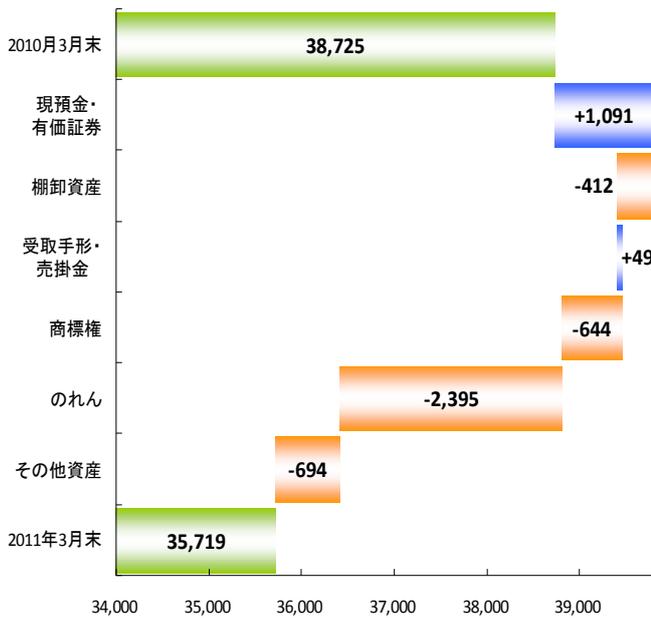


**改善要因:** 事業構造強化費用の減: 55億円  
固定資産売却損の減: 33億円  
**悪化要因:** 固定資産売却益の減: 201億円  
前年のOFT戻り益計上: 167億円  
カナダにおける行政法規違反過料: 128億円  
災害損失: 109億円 等

(このスライドは空白です)

# 2011年3月期末 連結貸借対照表のポイント

## □ 資産の部 2010年3月末・2011年3月末比較



## □ 流動資産 : +519億円

### 【現預金・有価証券増加】:+1,091億円

- ・ 社債の発行による増加

### 【棚卸資産減少】△412億円

- ・ 国内たばこ事業における数量減、海外たばこ事業におけるドル/円為替影響による減

### 【受取手形・売掛金増加】+49億円

- ・ 国内たばこ事業での売上高増

### 【その他流動資産減少】△208億円

- ・ 海外たばこ事業での為替影響等

## □ 固定資産△3,526億円

### 【商標権の減少】△644億円

- ・ 海外たばこ事業におけるドル/円為替影響および償却影響

### 【のれんの減少】△2,395億円

- ・ 海外たばこ事業におけるドル/円為替影響および償却影響

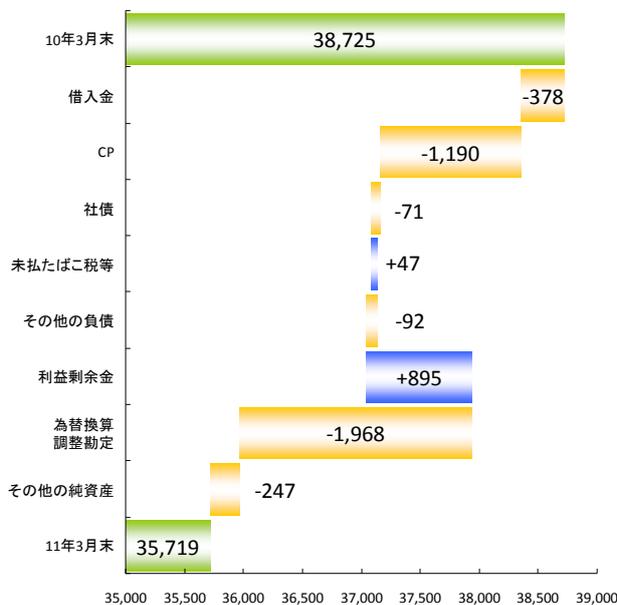
### 【有形固定資産の減少】△160億円

- ・ 海外たばこ事業におけるドル/円為替影響等

(億円)

# 2011年3月期末 連結貸借対照表のポイント

## □ 負債・純資産の部 2010年3月末・2011年3月末比較



## □ 負債合計 : △1,685億円

### 【借入金減少】△378億円

### 【CP減少】△1,190億円

### 【社債減少】△71億円

### 【未払たばこ税増】+47億円

- ・ 国内たばこ事業における定改による販売単価増

## □ 純資産合計 : △1,320億円

### 【利益剰余金の増加】+895億円

### 【為替換算調整勘定】△1,968億円

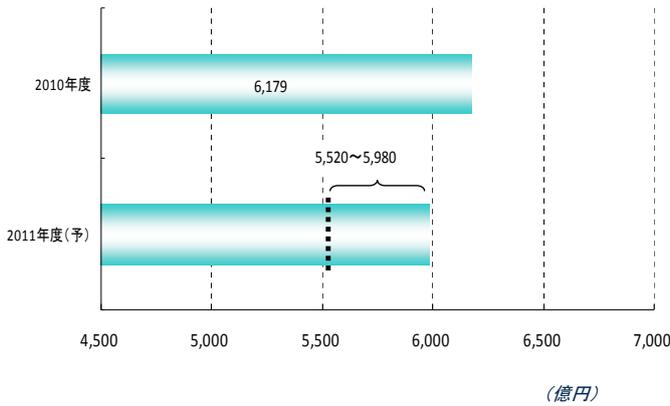
- ・ 期末の円ドルレートが円高(92.10→81.49)

(億円)

# 2012年3月期 業績予想\_対前年度実績

## 国内たばこ事業 調整後売上高<sup>1)</sup>/EBITDA

### 調整後売上高<sup>1)</sup>



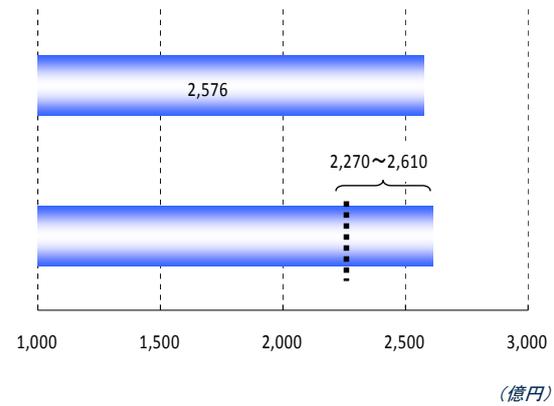
#### 【主な減少要因】

- JT販売数量の減:  
1,346億本  
⇒1,000億本~1,080億本

#### 【主な増加要因】

- 単価上昇効果

### EBITDA



#### 【主な減少要因】

- JT販売数量の減  
1,346億本  
⇒1,000億本~1,080億本

#### 【主な増加要因】

- 単価上昇効果

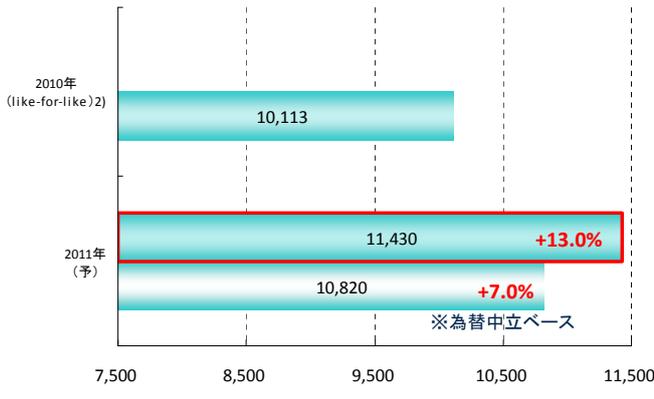
1) 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更  
輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除



# 2011年3月期 業績予想\_対前年度実績

## 海外たばこ事業 調整後売上高<sup>1)</sup> (\$ベース)/EBITDA<sup>2)</sup>(\$ベース)

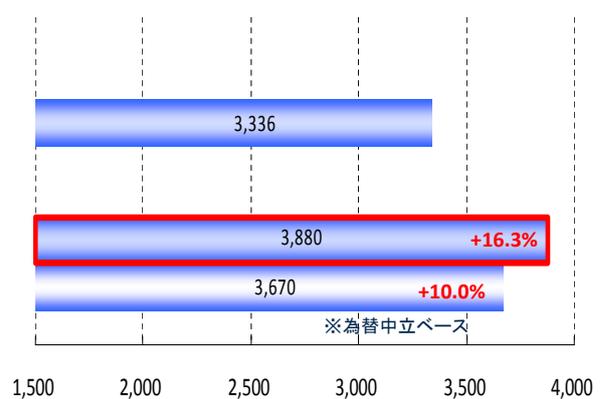
### 調整後売上高<sup>1)</sup>



#### 【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果

### EBITDA<sup>2)</sup>



#### 【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果

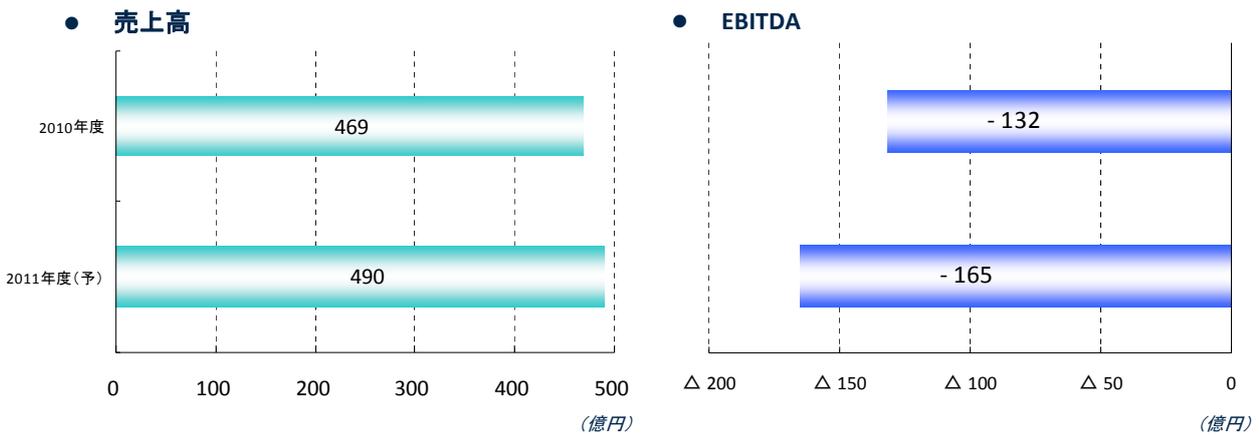
1) 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更  
物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除  
2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を行い、  
2010年の実績についても参考として遡及して表示(利益影響なし)

2) 2011年期首より、海外たばこ事業のみ先行してUSGAAPからIFRSに  
移行するため、2010年もIFRSを採用していたと仮定して算出した概算値を  
like-for-likeとして表示(非監査参考情報)



# 2012年3月期 業績予想\_対前年度実績

## □ 医薬事業 売上高/EBITDA



### 【主な増加要因】

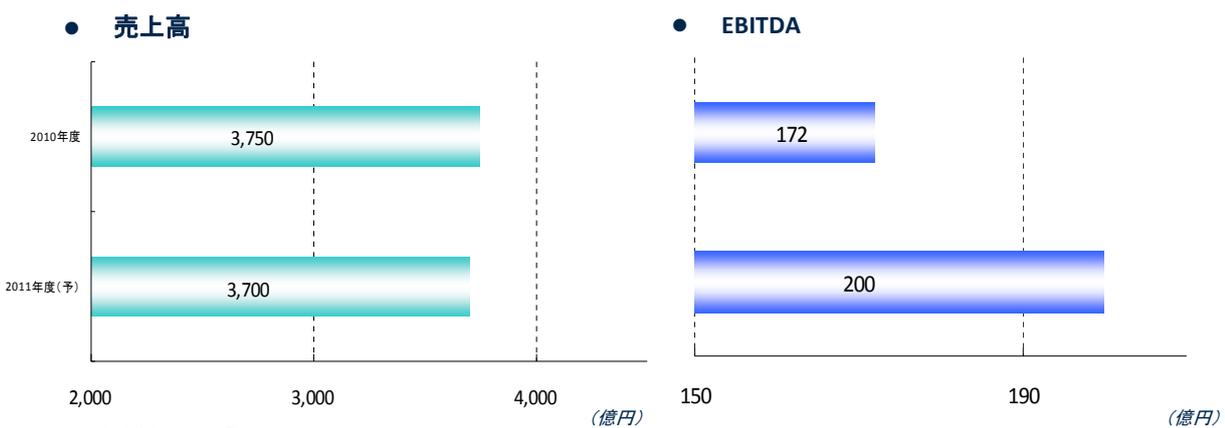
- 鳥居薬品の売上高: 453億円→488億円(+34億円)

### 【主な減少要因】

- 研究開発費の増加
- 前年度の既導出品にかかる開発進捗に伴う一時金収入

# 2012年3月期 業績予想\_対前年度実績

## □ 食品事業 売上高/EBITDA



### 【主な増加要因】

- 加工食品事業等における主力分野への戦力集中による成長

### 【主な減少要因】

- 飲料事業における震災影響による減収

### 【主な増加要因】

- 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

2011年3月期 決算データ集 (1)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	10年3月期	11年3月期	増減
税込売上高	61,346	61,945	598
調整後税抜売上高 <sup>(注)</sup>	19,809	19,566	△ 243
EBITDA	5,267	5,411	144
営業利益	2,965	3,286	321
経常利益	2,553	3,124	571
当期純利益	1,384	1,449	65

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、業たばこ販売、製造受託等を控除

(参考: のれんの償却影響を除く(主要利益)) (単位:億円)

営業利益	3,939	4,197	258
経常利益	3,528	4,035	507
当期純利益	2,358	2,360	1

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	10年3月期	11年3月期	増減
全社税込売上高 <sup>(注1)</sup>	61,346	61,945	598
国内たばこ事業	30,428	31,033	605
海外たばこ事業	26,336	26,499	163
調整後全社税抜売上高 <sup>(注1/注2/注3)</sup>	19,809	19,566	△ 243
国内たばこ事業 <sup>(注2)</sup>	6,159	6,179	19
海外たばこ事業 <sup>(注1)(注3)</sup>	9,067	8,974	△ 93
医薬事業	440	469	29
食品事業	3,946	3,750	△ 196
飲料事業	1,861	1,924	62
加工食品事業等	2,085	1,826	△ 259
その他の売上高	195	192	△ 2

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、業たばこ販売、製造受託等を控除した実績

(参考) (単位:百万ドル)

	09年12月期	10年12月期	増減
海外たばこ事業			
調整後税抜売上高	9,682	10,223	540
海外たばこ事業 為替中立ベース		10,144	462
調整後税抜売上高 <sup>(注1)(注3)</sup>			

3.業たばこ評価洗替差損益<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	10年3月期	11年3月期	増減
業たばこ評価洗替差損益	△ 41	-	41

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	10年3月期	11年3月期	増減
販売費及び一般管理費	8,155	7,917	△ 237
人件費 <sup>(注)</sup>	2,160	2,173	13
広告宣伝費	219	208	△ 10
販売促進費	1,437	1,407	△ 29
研究開発費	496	533	37
減価償却費	725	608	△ 117
その他	3,115	2,985	△ 130

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA<sup>(注1)</sup>

(単位:億円)

	10年3月期 (旧会計基準)	10年3月期 (新会計基準)	11年3月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
全社EBITDA	5,267	5,267	5,411	144
営業利益	2,965	2,965	3,286	321
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	2,301	2,301	2,124	△ 177
国内たばこ事業EBITDA	2,576	2,512	2,576	64
営業利益	2,033	1,987	2,129	141
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	543	525	447	△ 77
海外たばこ事業EBITDA <sup>(注3)</sup>	2,498	2,776	2,881	104
営業利益	1,091	1,369	1,561	191
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	1,407	1,407	1,320	△ 87
医薬事業EBITDA	△ 96	△ 96	△ 132	△ 36
営業利益	△ 135	△ 135	△ 174	△ 38
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	39	39	41	2
食品事業EBITDA	144	144	172	27
営業利益	△ 136	△ 136	△ 94	△ 42
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	281	281	266	△ 14
その他/全社・消去EBITDA	143	△ 70	△ 87	△ 16
営業利益	113	△ 118	△ 135	△ 16
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	30	48	47	0

(参考) (単位:百万ドル)

	09年12月期	10年12月期	増減
海外たばこ事業EBITDA	2,965	3,282	317
為替中立ベース		3,194	229
海外たばこ事業EBITDA			

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費<sup>(注2)</sup>

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

6.主要投資案件の賠償却費

(単位:百万ドル)

のれん償却費	09年12月期	10年12月期	償却年数
海外たばこ事業			
旧RJRI及び旧Gallaher関連	904	916	20年

(注): 旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

のれん償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

(単位:億円)

食品事業	10年3月期	11年3月期	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	104	91	5年

(注): 2010年3月期の実績: テーブルマーク子会社ののれんの一括償却を含む

: のれん償却終了は、'12年12月

商標権償却費 (単位:億円)

国内たばこ事業	10年3月期	11年3月期	償却年数
旧RJRI関連	29	-	10年

(注): 商標権償却終了は、'09年4月

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	09年12月期	10年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	242	主に20年

(注): 商標権償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7.資本的支出

(単位:億円)

	10年3月期 (旧会計基準)	10年3月期 (新会計基準)	11年3月期 (新会計基準)	対前年増減 (新会計基準)
資本的支出	1,371	1,371	1,460	88
国内たばこ事業	458	426	559	133
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	645	645	609	△ 36
医薬事業	29	26	28	2
食品事業	234	234	250	15
その他/全社・消去	3	38	12	△ 26

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

8.手元流動性<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	10年3月末	11年3月末	増減
手元流動性	1,673	2,765	1,091

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現先

9.有利子負債<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	10年3月末	11年3月末	増減
有利子負債	8,743	7,087	△ 1,655

(注): 有利子負債=短期借入金+CP+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	10年3月期	11年3月期	増減
JT販売数量 <sup>(注)</sup>	1,518	1,346	△ 172
国内総需要	2,338	2,101	△ 236
JT販売数量シェア	64.9%	64.1%	△ 0.8%pt
JT千本当税込売上高	12,692	14,365	1,673
JT千本当税抜売上高	4,056	4,582	526

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2010年3月期36億本、2011年3月期35億本。

【海外たばこ事業】	09年12月期	10年12月期	増減
販売数量 <sup>(注)</sup>	4,349	4,284	△ 65
GFB販売数量	2,434	2,498	65
円/USドルレート	93.65	87.79	6.7%円高
RUB/USドルレート	31.77	30.36	4.6%RUB高
GBP/USドルレート	0.65	0.65	0.2%GBP高
EUR/USドルレート	0.73	0.75	3.0%EUR安

(注): Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	10年3月期	11年3月期	増減
研究開発費(単体)	219	216	△ 2

【食品事業-飲料事業】	10年3月末	11年3月末	増減
自動販売機台数 <sup>(注)</sup>	257,000	265,000	8,000
うちマーキング機	33,000	33,000	0
うちコンビニ	82,000	83,000	1,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカプセル機を含む。「マーキング機」は当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ」は関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、I製品の出荷を積極的に行う自動販売機を指す。

東日本大震災の被災状況の確認が未終了のため、被災エリアの2011年3月末の自動販売機台数は、被災前の設置確認台数を集計

11.従業員数<sup>(注1)</sup>

(単位:人)

	10年3月末	11年3月末	増減
従業員数(連結)	49,665	48,472	△ 1,193
国内たばこ事業	11,282	11,191	△ 91
海外たばこ事業	24,751	23,902	△ 849
医薬事業	1,634	1,664	30
食品事業	11,143	10,864	△ 279
その他事業/全社共通業務	855	851	△ 4
従業員数(単体)	8,961	8,928	△ 33

(注1): 従業員数は就業人員ベース

2011年3月期 決算データ集(2)

2012年3月期連結業績予想(前期実績比較)

・この業績ガイドランスは、日本の会計基準を採用しています。  
 ・東日本震災影響により合理的な見込を立てることが困難であることから、一部数値を非開示またはレンジで開示しています。  
 ・また、海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期は期首からIFRSを採用した上で、日本基準に必要なコンバージョンを行い開示します。(例:のれん償却など)

(単位:億円)

	11年3月期 実績	12年3月期 見込	対前年増減	
調整後売上高 <sup>(注1)(注2)(注3)</sup>	19,566	19,250	19,700	△ 316 ~ 133
EBITDA	5,411	5,400 ~	5,740	△ 11 ~ 328
営業利益	3,286	-	-	-
経常利益	3,124	-	-	-
当期純利益	1,449	-	-	-
ROE(株主資本利益率)	9.2%	-	-	-
フリーキャッシュフロー	2,997	-	-	-

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,360	-	-	-
EPS(円)	24,657.57	-	-	-
1株当たり配当金(円)	6,800	8,000	1,200	-
配当性向	27.6%	-	-	-

(単位:億円)

	11年3月期 実績	12年3月期 見込	対前年増減	
調整後売上高 <sup>(注1)(注2)(注3)</sup>	19,566	19,250 ~	19,700	△ 316 ~ 133
国内たばこ事業 <sup>(注2)</sup>	6,179	5,520 ~	5,980	△ 659 ~ △ 199
海外たばこ事業 <sup>(注1)(注3)</sup>	8,974	9,370	395	-
医薬事業	469	490	20	-
食品事業	3,750	3,700	△ 50	-
その他の売上高	192	165	△ 27	-
EBITDA <sup>(注1)(注4)</sup>	5,411	5,400 ~	5,740	△ 11 ~ 328
国内たばこ事業	2,576	2,270 ~	2,610	△ 306 ~ 33
海外たばこ事業 <sup>(注1)</sup>	2,881	3,180	298	-
医薬事業	△ 132	△ 165	△ 32	-
食品事業	172	200	27	-
その他/全社・消去	△ 87	△ 105	△ 17	-
営業利益 <sup>(注1)</sup>	3,286	-	-	-
国内たばこ事業	2,129	-	-	-
海外たばこ事業 <sup>(注1)</sup>	1,561	1,850	288	-
医薬事業	△ 174	△ 205	△ 30	-
食品事業	△ 94	-	-	-
その他/全社・消去	△ 135	-	-	-
減価償却費 <sup>(注1)(注5)</sup>	2,124	-	-	-
国内たばこ事業	447	-	-	-
海外たばこ事業 <sup>(注1)</sup>	1,320	1,330	9	-
医薬事業	41	40	△ 1	-
食品事業	266	-	-	-
その他/全社・消去	47	-	-	-

(単位:億円)

資本的支出 <sup>(注1)</sup>	1,460	-	-	-
国内たばこ事業	559	-	-	-
海外たばこ事業 <sup>(注1)</sup>	609	450	△ 159	-
医薬事業	28	30	1	-
食品事業	250	-	-	-
その他/全社・消去	12	-	-	-

(参考)

(単位:百万ドル)

(単位:百万ドル)

	2010年 実績 (like-for- like) <sup>(注7)(注8)</sup>	2011年 見込	対前年増減	2010年 実績
海外たばこ事業				
調整後売上高 <sup>(注1)(注3)(注8)</sup>	10,113	11,430	1,317	10,223
為替中立ベース海外たばこ事業 調整後売上高 <sup>(注1)(注3)(注6)(注8)</sup>	10,113	10,820	707	10,223
海外たばこ事業EBITDA <sup>(注1)(注7)</sup>	3,336	3,880	544	3,282
為替中立ベース海外たばこ事業 EBITDA <sup>(注1)(注6)(注7)</sup>	3,336	3,670	334	3,282

(注1):海外たばこ事業の決算期は1-12月

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、葉たばこ販売、製造受託等を控除

(注4): EBITDA = 営業利益 + 減価償却費<sup>(注5)</sup>

(注5): 減価償却費 = 有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

(注6): 2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

(注7): 2011年期より海外たばこ事業のみ先行してUSGAAPからIFRSに移行するため、2010年もIFRSを採用していたと仮定して算出した概算値をlike-for-likeとして表示(非監査参考情報)

(注8): 2011年より一部収益認識について自主的な会計方針の変更を行い、2010年の実績についても参考として題として表示(利益影響なし)

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業 (単位:億円)

	11年3月期	12年3月期	増減	
販売数量	1,346	1,000 ~	1,080	△ 346 ~ △ 266

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

	2010年	2011年	増減
総販売数量※	4,284	4,280	△ 4
GFBS販売数量	2,498	2,570	72
円/USドルレート	87.79	82.00	7.1%高
RUB/USドルレート	30.36	28.50	6.5%高
GBP/USドルレート	0.65	0.61	6.6%高
EUR/USドルレート	0.75	0.70	7.1%高
CHF/USドルレート	1.05	0.90	16.7%高
TWD/USドルレート	31.73	28.70	10.6%高

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	916	930	20年

(注): のれんの償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年3月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	242	250	主に20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年3月

# 国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

## 国内たばこ事業関連係数

### 1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203	277	1,346

### 2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133	5,669	22,689

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

### 3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691	12,696	12,692
2010年度	12,686	12,686	17,349	17,418	14,365

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。  
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

### 4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。  
千本当税抜売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税)) / 販売数量 × 1,000

### 5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1

## 伸張セグメントシェア

### 1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

①JTターール1mg製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4

②1mg市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7

### 2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JTメンソール製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3

②メンソール市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2

### 3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT440円以上製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3

②440円以上市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1

(注)：2010年10月以前は320円以上

### 4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70

\* ビアニッソモ及びプレミアは2006年3月、バヴェル・フレアは2006年12月、キャストは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2011年5月12日現在)

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) モジュレート	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内: Phase2 海外: Phase2	脂質異常症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内: Phase2	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内: Phase2	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1 (パノロイド受容体1) 阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTK-656 (経口)	海外: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内: Phase3	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出 (鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	海外: Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851 (経口)	国内: Phase1	2型糖尿病	GPR40 (G蛋白質共役型受容体) 作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	

\*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回 (2011年2月7日) 公表時からの変更点: JTT-751 国内臨床試験 Phase2からPhase3へ移行